特定疾患対策研究事業について
（平成15年度から難治性疾患克服研究事業[仮称]）

資料1－3

臨床調査研究グループ	臓器別、疾患別に特定疾患に係る科学的根拠を集積・分析し、医療に役立てることを目的とする研究　**14分野　37研究班**
横断的基盤研究グループ	臨床調査研究や他の先端的厚生科学研究（ヒトゲノム・遺伝子治療研究、免疫・アレルギー研究等）における研究者との情報交換、技術的支援等の連携のもと、特定疾患に係る基盤的・基礎的な科学的根拠を集積・分析し、疾患の原因究明や診療技術の確立に役立てることを目的とする研究　**4分野　10研究班**
重点研究グループ	特定疾患患者の予後や生活の質の改善を目指し、又は明確かつ具体的な目標を設定し、画期的な成果を得ることを目的とする研究　**13研究班**

公募課題の選定

・行政情報（患者団体からの意見含む）
・事前評価委員会
・研究者からのヒアリング
・特定疾患対策懇談会
（健康局長の私的諮問機関）

評価委員の選定

・各研究グループにおける最新の研究状況を把握しているほか、各疾患の臨床の実際について精通している者
・基礎研究に関して疾患横断的な研究の実績がある者
・任期は2年

研究事業の特徴

・研究課題の選定にあたっての幅広い情報収集
・グループ毎の研究進行管理と事業評価
・全国規模の研究班による各疾患の最新の診療ガイドラインの確立・整備とフィードバック
・患者団体との共同研究を含めた臨床に即した研究

評価の実際

・評価については、事前評価、中間・事後評価ともに書面評価の他、必要に応じてヒアリングを実施

スケジュール（平成14年度）

4月　公募（インターネット）53課題
6月　事前評価委員会　（応募計87→53課題採択）
3月　中間・事後評価委員会開催
（計60課題）

特定疾患対策研究事業のこれまでの成果

① 特定疾患（118疾患）の診断指針、治療指針の作成（臨床調査G）

② 疾患の原因遺伝子の特定とこれに基づく病態解明の推進（臨床調査G）

③ 特定疾患治療研究事業対象疾患の死亡率の改善の把握（横断的基盤研究G）

④ 地域支援ネットワークの研究と行政施策への反映（横断的基盤研究G）

⑤ トピック的な難病の診断法・治療法の検証（重点研究G）

例：潰瘍性大腸炎における白血球除去の有効性の証明

原発性肺高血圧に対する持続的血管拡張療法の有効性の証明

プリオン病の発生遅延に関する因子の解析